

第5章

次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

- ・次代を担い、社会を生き抜く力を持つ人づくりを進める
- ・地域の歴史・文化を継承し、心豊かな人を育む活動を推進する
- ・心身の健康を保ち、向上心を育む活動を推進する

● 第5章を構成する分野

分 野

幼児教育

学校教育

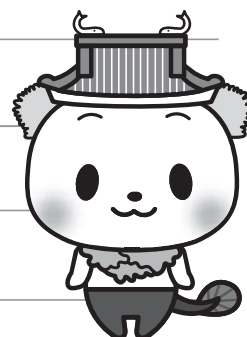
地域教育

青少年健全育成

芸術文化・文化財

生涯学習

スポーツ・レクリエーション



第5章

次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

分野・幼児教育

目指す
状態

▶生きる力の基礎を育むための幼児教育の環境が充実したまち

分野の主な目標

内 容	単 位	現状値	目標値 (令和5年度)
幼児教育カリキュラムに基づく 幼児教育の実施率	%	100 (令和元年度)	100

施 策

施策1 幼児教育の充実

〈施策の方向性〉

- 私立幼稚園への運営費補助金の交付、幼児教育・保育の無償化による私立幼稚園在園児の保護者の経済的負担の軽減
- 切れ目のない効果的な「つながりのある教育」の推進（重点）

【現状と課題】

- ・平成27年度から子ども・子育て支援新制度が開始され、幼稚園の在り方も変わりつつあります。
- ・幼児期における学びを小学校の学びへとつなげるための「幼児教育カリキュラム」を基に、幼稚園・保育園・小学校等の教職員が「育てたい子どもの姿」を共有し、子どもの発達と学びの連続性を踏まえて幼児教育の充実を図っています。
- ・私立幼稚園への運営費補助金の交付や幼児教育・保育の無償化による私立幼稚園在園児の保護者の経済的負担の軽減などを引き続き実施するとともに、保護者ニーズを踏まえて、魅力ある幼児教育を展開することが必要です。
- ・「小1プロブレム（※）」の解消を図るため、幼稚園・保育園・小学校等及び関係機関の連携を強化していくことが必要です。

※入学したばかりの1年生で、集団行動がとれない、授業中座ってられない、話を聞かないなどの状態が数カ月継続すること。

【4年後の姿】

- ・幼児教育の振興を奨励し、その充実及び向上を図ることにより、幼児一人ひとりの健やかな成長を促しています。
- ・幼稚園・保育園・小学校等の連携を密にすることにより、幼児が学校生活にスムーズに適応できる環境が整えられています。

関連する
個別計画

- 吉田町教育大綱
- 吉田町教育元気物語 TCP Triwins Plan
- 吉田町子ども・子育て支援事業計画

第5章

次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

分野 ● 学校教育

目指す
状態

▶一人ひとりの個性を伸ばす学校教育環境が充実したまち

分野の主な目標

内 容	目 標		
全国学力・学習状況調査の 県平均正答率との差	令和2年度に小・中学校ともに全科目県平均 正答率以上を達成し、以後継続させる		
内 容	単 位	現状値	目標値(令和5年度)
各小中学校における学習者用コンピューター 1台当たりの児童・生徒数	人/台	14.9 (令和元年度)	1.0
朝食を毎日食べる児童・生徒の割合	%	児童 94.8 生徒 95.7 (平成30年度)	児童 100 生徒 100

施 策

施策1 教育環境の充実

〈施策の方向性〉

- 吉田町教育元気物語 TCP Triwins Plan(※) に基づいた教育環境の充実（重点）
- 学校施設個別施設計画の策定・施設管理の推進
- 大学等と連携した教育環境の充実

※教職員(teacher)、子ども(children)、保護者(parents)の三者が共に利益を得ながら、教育を変え、学校を変えていく「未来志向的」なものとして、町独自の教育改革を展開していくことをねらいとしたプラン

【現状と課題】

- ・ 児童生徒数の増減等を踏まえ、計画的に施設整備を進めていく必要があります。
- ・ 社会全体でICT環境の整備が求められていることから、情報通信技術の進展に対応した校内のICT環境の整備を進めていくことが必要です。
- ・ より良質な高等教育を受ける機会を持続的に確保することが重要です。

【4年後の姿】

- ・ 必要に応じた施設の改修や整備、設備の充実を図ることにより、学校施設の安全性や利便性が向上し、教育環境が充実しています。
- ・ ICT環境の整備を進めることにより、プログラミング教育(※)をはじめとした情報教育の充実が一層図られるとともに、児童・生徒が主体的に学習する環境が整っています。
- ・ 近隣の高等学校や大学との連携を強化することにより、高等教育の基盤が充実しています。

※子どもたちに、コンピューターに意図した処理を行うように指示できることを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる力として「プログラミング的思考」等を育成する教育のこと

施策2 学校教育の充実

〈施策の方向性〉

- 吉田町教育元気物語 TCP Triwins Planに基づいた教育の実践（重点）

【現状と課題】

- ・ 道徳、外国語の教科化やプログラミング教育の充実など、学習指導要領の改訂に応じた授業の改善が必要です。
- ・ 主体的に社会を生き抜く子どもを育成するため、生きる力を支える「確かな学力」（※）、健やかな体、豊かな心を身に付けるとともに、幼保小中の連携を強化し、より質の高い学校教育を推進することが必要です。
- ・ 特別な支援が必要な児童・生徒や外国籍の児童・生徒の増加など学校が複雑・多様化していることから、個に応じたきめ細やかな指導・支援を更に充実していくことが必要です。
- ・ いじめや問題行動を未然に防ぐ取組を展開しており、引き続き、いじめや問題行動の未然防止に努めることが必要です。

※知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、より良く問題を解決する資質や能力等までも含めた学力のこと

【4年後の姿】

- ・ 「確かな学力」の定着と一人ひとりの個性と発達段階に応じたきめ細やかな教育を推進することにより、次代を担うことができる子どもが育っています。
- ・ いじめや問題行動を未然に防ぐ取組を展開することにより、児童・生徒が安心して学習する環境が整っています。

施策3 健全な児童・生徒の育成

〈施策の方向性〉

- 食育の推進
- 定期的な健康診断の実施

【現状と課題】

- ・ 学校給食には栄養管理だけでなく、食育などの新たな役割が求められています。
- ・ 児童生徒が健康な状態で学校生活を送ることが重要です。

【4年後の姿】

- ・ 給食を通じて食育の推進を図ることにより、児童生徒が正しい食習慣の在り方を理解しています。
- ・ 児童生徒の定期的な健康診断を実施することにより、児童生徒が安心して学校生活を送ることができています。

**関連する
個別計画**

- 吉田町教育大綱
- 吉田町教育元気物語 TCP Triwins Plan
- 吉田町子ども・子育て支援事業計画

第5章

次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

分野・地域教育

目指す
状態

▶ 地域で子どもを育み、地域の教育力が向上しているまち

分野の主な目標

内 容	単 位	現状値	目標値(令和5年度)
地域教育推進事業への参加者数	人/年	102 (令和元年度)	120
チャレンジ教室の教室数	教室	27 (令和元年度)	30

施 策

施策1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

〈施策の方向性〉

- 地域教育推進事業の推進
- 放課後子ども教室の拡充（重点）
- 家庭教育支援の推進
- 地域と学校の連携・協働体制の推進

【現状と課題】

- ・ 地域の教育力向上のため、各団体、組織のネットワーク化を図るとともに、自然体験、通学合宿などさまざまな地域の特性を生かした体験活動を通して、子どもを豊かに育む取組を行っています。
- ・ 地域の教育力の向上を図るためには、地域の各種団体・学校・家庭が協働して取り組むことが必要です。そのために、連携を促進する地域コーディネーターの育成や地域の子どもは地域で育む意識を醸成することが必要です。
- ・ 子どもを健全に育む活動に、親や地域の大人の参加を促し、子どもと大人と一緒に活動し、感動を共有できる場を創出することが必要です。
- ・ 放課後及び休日に子どもが安心して活動できる“居場所”を確保するとともに、次世代を担う子どもの健全育成を一層支援するため、地域の大人が子どもを見守り、様々な体験を通して、地域で子どもを育む体制を推進することが必要です。また、より多くの子どもに豊かな体験活動を提供するため、放課後児童クラブと連携することが必要です。
- ・ 家庭での教育力の向上を図るために、子どもの成長やかかわり方について学ぶ機会を提供することが必要です。

【4年後の姿】

- ・ 学校・家庭・地域が協働して地域の子どもを育む活動を展開することにより、地域の教育力が向上しています。
- ・ 放課後子ども教室と放課後児童クラブが連携し、充実した放課後の居場所づくりを展開することにより、地域で子どもを育む体制の充実が図られています。
- ・ 子育てやしつけに関する知識、子どもとの接し方など、保護者が学ぶ機会を提供することにより、家庭の教育力が向上しています。

関連する
個別計画

- 吉田町教育大綱
- 吉田町教育元気物語 TCP Triwins Plan
- 吉田町子ども・子育て支援事業計画



第5章

次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

分野 ● 青少年健全育成

目指す
状態

▶ 健やかな心を持つ健全な青少年の育っているまち

分野の主な目標

内 容	単 位	現状値	目標値 (令和5年度)
笑顔いっぱい運動スタッフベスト(※) 配布枚数(累計)	枚	1,301 (平成30年度)	1,500

※地域の青少年に対し、あいさつ運動などにより青少年の健やかな成長を支援していこうとする「吉田町笑顔いっぱい運動」に賛同した希望者に配布するもの

施 策

施策1 健全育成活動の推進

〈施策の方向性〉

- 吉田町笑顔いっぱい運動の促進
- 地域ぐるみで行う青少年の健全な育成及び健全育成活動に携わる人材の育成

【現状と課題】

- ・ 少子高齢化や情報化社会の進展により、青少年を取り巻く環境が大きく変化しています。
- ・ 家庭・地域・学校・行政が連携し、それぞれの役割の再認識と教育力の向上を図ることが必要です。
- ・ 大人が青少年へ積極的に関わりを持ち、「地域の子どもは地域で育てる」という意識を醸成することが必要です。
- ・ 吉田町笑顔いっぱい運動については、町内へ浸透してきていますが、更なる普及に努めることが必要です。
- ・ 町を挙げた青少年の健全育成活動を行うため、それに携わる人材を育成することが必要です。

【4年後の姿】

- ・ 家庭・地域・学校・行政が連携し、笑顔いっぱい運動を推進することにより、青少年を健全に育成していく体制が整っています。
- ・ 青少年の健全育成活動に積極的に携わる人材を育成することにより、青少年の健全な育成が図られています。

関連する
個別計画

- 吉田町教育大綱
- 吉田町子ども・子育て支援事業計画

第5章

次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

分野・芸術文化・文化財

目指す
状態

▶ 芸術文化活動に親しみ、楽しむことを通じて、心豊かな人が育まれているまち

分野の主な目標

内 容	単 位	現状値	目標値(令和5年度)
芸能祭出演者数	人/年	450 (令和元年度)	700
文化展出展者数	人/年	1,529 (令和元年度)	2,000
芸能祭、文化展等入場者数	人/年	2,703 (令和元年度)	4,000

施 策

施策1 芸術文化活動の促進

〈施策の方向性〉

- 芸能祭・文化展の充実、初心者入門講座等の充実
- 芸術文化における指導者の養成

【現状と課題】

- ・ 芸術文化活動団体の会員の減少や高齢化が進んでいます。
- ・ 住民ニーズを把握し、より多くの住民が優れた芸術文化を鑑賞する機会を得られるようにすることが必要です。
- ・ 芸術文化活動の指導者の養成や、初心者でも参加できる入門講座の充実などにより、参加しやすい環境づくりを進めるとともに、自主的な活動を支援することが必要です。

【4年後の姿】

- ・ 芸能祭・文化展などの充実を図ることにより、住民が優れた芸術文化を鑑賞し、自ら芸術文化活動に参加できる環境が整っています。
- ・ 文化団体の育成・拡充や文化的な活動を促進できる指導者の育成を図ることにより、芸術文化活動が活性化しています。

施策2 文化財の保護と活用

〈施策の方向性〉

- 文化財保護審議会活動の充実
- 専門的な知識を有する人材の育成

【現状と課題】

- ・ 歴史的、文化的に価値のある文化財は、後世に受け継ぐとともに、郷土への愛着を深めていくための資料として保護・活用することが重要です。

【4年後の姿】

- ・ 文化財の保護・活用についての専門的な知識を有する人材を育成することにより、町内の文化財への理解と愛着を深める学習環境が整っています。

関連する
個別計画

- 吉田町教育大綱

第5章

次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

分野・生涯学習

目指す
状態

▶住民誰もがいつでも学習することのできる環境の整っている生涯学習のまち

分野の主な目標

内 容	単 位	現状値	目標値 (令和5年度)
生涯学習教室参加人数	人/年	885 (平成30年度)	900
シニアカレッジ・寿大学受講者数	人/年	109 (令和元年度)	120
図書館来館者数	人/年	115,876 (平成30年度)	130,000

施 策

施策1 生涯学習活動の推進

〈施策の方向性〉

- 生涯学習教室や各種講座の開催、学習成果を発表する場の充実（重点）
- シニアカレッジ・寿大学の充実（重点）
- 指導者の人材育成、循環する人材体制の構築（重点）

【現状と課題】

- ・ 地域の中から生涯学習の指導者となる人材の発掘や育成等を図り、生涯学習環境の充実に努める必要があります。
- ・ 住民の学習ニーズが多様化していることから、ニーズに合わせた学習環境の充実に努める必要があります。

【4年後の姿】

- ・ 住民ニーズに基づいた各種講座の開催や学習成果を発表する場の充実に努めることにより、生涯学習活動に取り組む人が増加しています。
- ・ 生涯学習を通じて、意欲のある地域の人材が指導者として育成されることにより、新たな人材が育成されるという循環が形成されています。

施策2 生涯学習施設の適正な維持管理

〈施策の方向性〉

- 生涯学習施設の計画的な維持修繕の実施

【現状と課題】

- ・ 老朽化している生涯学習施設については、計画的な維持修繕を行う必要があります。

【4年後の姿】

- ・ 生涯学習施設の計画的な維持修繕を行うことにより、住民が快適な環境で生涯学習に取り組んでいます。

施策3 図書館の機能向上

〈施策の方向性〉

- 住民ニーズに基づいた資料・情報の提供及び支援
- 誰もが利用しやすいサービスの充実

【現状と課題】

- ・ すべての住民にとって役立つ図書館とするため、住民のニーズを的確に把握し、図書館運営に取り入れていくことや、障害者サービスの充実を図ることが必要です。

【4年後の姿】

- ・ 住民ニーズに基づいた資料収集と情報提供環境の充実や障害者サービスの充実を図ることにより、住民の日常生活や仕事のために必要な情報・知識の習得、関心のある分野に対する学習の支援につながっています。

関連する 個別計画

- 吉田町教育大綱
- 吉田町立図書館基本構想及び基本計画
- 吉田町子ども・子育て支援事業計画

第5章

次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

分野・スポーツ・レクリエーション

目指す
状態

▶住民がスポーツをいつでも気軽に楽しめるまち

分野の主な目標

内 容	単 位	現状値	目標値 (令和5年度)
各種大会、スポーツ教室等への参加人数	人/年	1,911 (平成30年度)	2,800

施 策

施策1 町内スポーツ施設の整備

〈施策の方向性〉

- 安全で安心して利用できる施設整備

【現状と課題】

- ・町の社会体育施設は、住民が安全で安心して利用できるよう整備していく必要があります。
- ・グラウンドなどの屋外施設や高齢者がスポーツに親しめるスポーツ施設の充実を図ることが必要です。

【4年後の姿】

- ・安全で安心して利用できる施設整備を進めることにより、スポーツ環境の向上が図られています。
- ・屋外施設の充実や既存施設の機能強化を図ることにより、子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツに親しんでいます。

施策2 スポーツ・レクリエーション活動の振興

〈施策の方向性〉

- 各種大会の開催・運営、スポーツ団体の育成・スポーツ団体との連携
- スポーツ推進委員活動の充実、初心者スポーツ教室等の充実
- 高齢者スポーツ教室の開設（重点）

【現状と課題】

- ・ スポーツ・レクリエーション活動は、健康の維持増進、住民同士や家族での交流、地域の連帯感の高揚、青少年の健全育成などの効果が期待されています。
- ・ 各種スポーツ教室の参加者が固定化する傾向にあるため、町全体のスポーツ人口の底辺拡大を図ることが必要です。
- ・ スポーツを通じて住民が交流する場を充実させるためには、スポーツを推進する各種団体を育成するとともに連携を図ることが必要です。

【4年後の姿】

- ・ 各種大会の開催や各種スポーツ団体との連携により、町全体のスポーツ人口の底辺拡大が図られ、スポーツ活動への意欲が増進しています。
- ・ 気軽に楽しめるスポーツの普及を図ることにより、子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツ・レクリエーション活動を積極的に行っています。

関連する 個別計画

- 吉田町教育大綱

